

緊急討議 東日本大震災

被災支援と MLAK—いまわたしたちにできることは

日時 2011年4月23日(土) 13:00-14:30
場所 学習院大学(目白) 南3号館203教室



開催の呼びかけ

3月11日の東日本大震災から一ヶ月が経ちました。この未曾有の災害に直面し、救命とライフラインの復旧が何よりの課題であります。同時に失われた多くの文化財のあることも私たち、博物館・美術館、図書館、文書館、公民館(MLAK)に関与するものは深い衝撃を持って受け止めざるをえません。

震災の当日より現在まで、被災・救援情報サイトを構築し saveMLAK にいたっている者たちの有志により、震災後、直近の関連学協会である日本アーカイブズ学会の年次大会に先立ち、標記の会合を持つことにいたしました。

貴重な時間と会場をご提供いただきました日本アーカイブズ学会のご支援、ご協力に深くお礼申し上げます。限られた時間ではありますが、MLAKに関わる多くの方々のご参集と今後の取り組みの展望へ向けて、討議が広く展開されることを期待いたしております。

呼びかけ人 saveMLAK 有志 <http://savemlak.jp/>

スケジュール・登壇者 学習院大学(目白) 南3号館203教室

13:00 開会

- | | | |
|-----|------------|-----------------------------|
| 発言1 | MLAKの展開 | 岡本 真 (ARG) |
| 発言2 | Mからの報告 | 山村真紀 (ミュージアム・サービス研究所) |
| 発言3 | Lからの報告 | 常世田良 (日本図書館協会事務局次長) |
| 発言4 | Aからの報告 | 青木 睦 (国文学研究資料館研究部准教授) |
| 発言5 | Kからの報告 | 神代 浩 (国立教育政策研究所教育研究情報センター長) |
| 発言6 | 文化財レスキューから | 栗原祐司 (文化庁文化財部美術学芸課長) |

※各発言8分程度、その後、フロアを交えて自由討議

14:30 閉会

司会 水谷長志 (東京国立近代美術館情報資料室長)

会場案内

学習院大学(目白) 南3号館203教室

<http://www.gakushuin.ac.jp/mejiro.html>

最寄駅: JR山手線目白駅、東京メトロ副都心線雑司が谷駅

協力(確定順)

日本アーカイブズ学会、アート・ドキュメンテーション学会、情報知識学会、日本ミュージアム・マネジメント学会、大学図書館問題研究会、情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会(CH研究会)、Code4Lib JAPAN、日本図書館研究会、日本図書館協会、全国学校図書館協議会、図書館総合展運営委員会、日本博物館協会、ヤングアダルト・サービス研究会、図書館問題研究会、図書館海援隊、図書館海援隊サッカー部、公民館海援隊、図書館友の会全国連絡会、漢字文献情報処理研究会、全日本博物館学会、日本教育大学協会 学校図書館部門、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 調査・研究委員会

参加方法

多数の参加が見込まれるため、直前ではありますが、事前登録を実施します。以下より事前登録をお願いします。なお、来場多数の場合、事前登録がお済みの方を優先することがあります。あらかじめご了承ください。

【事前登録フォーム】

<http://bit.ly/saveMLAK423event>

会場では簡単な受付をいたします。名刺を一枚頂戴します。名刺をお持ちではない方は、氏名・肩書・メールアドレスを書いた紙をお持ちください。

お問い合わせ先

saveMLAK プロジェクトパブリック・リレーションズ担当

E-mail: pr@savemlak.jp

saveMLAK: 博物館・美術館、図書館、文書館、公民館(MLAK)の被災・救援情報サイト

URL: <http://savemlak.jp/>